

2023年10月30日
泉佐野市

こども食堂支援事業に対する「企業版ふるさと納税」を頂戴しました ～和歌山市内のこども食堂へ泉州産の食材を提供します～

泉佐野市(市長:千代松 大耕)は、株式会社丸昌(本社:和歌山市、代表取締役社長:西原 辰也)から、こども食堂を支援する「子どもの未来応援プロジェクト(以下、本事業という。)に対して、企業版ふるさと納税^{*1}による寄附を頂戴しました^{*2}。寄附金は、同社の意向により、和歌山市内のこども食堂の支援に活用します。



寄附を頂戴しました本事業は、寄附金を活用し、市が泉州地域の食材(米や野菜など)を買い上げ、寄附企業が指定する地域のこども食堂に提供するものです。寄附企業が支援したい地域を指定できる点が、本事業の特徴です。今回は、株式会社丸昌の本社所在地である和歌山市内のこども食堂を支援します。本事業は、昨年度に開始して以降、累計2千万円を超える寄附をいただき、北海道から沖縄まで全国のこども食堂の支援に取り組んでいます。

今年で創業50周年を迎えられた株式会社丸昌は、和歌山市を拠点に、ホテル・病院などで使用する業務用寝装品の製造、販売をされています。「社員の心と物の豊かさを追い求め社会に貢献しよう」という理念を基に、様々な社会貢献活動に取り組まれています。この度、子どもの貧困対策や子育て支援に思いを同じくすることから、本事業に共感いただき、寄附を頂戴する運びとなりました。

今後も、本市は企業版ふるさと納税を活用し、持続的な社会課題の解決と地域経済の活性化に努めてまいります。

^{*1} 企業版ふるさと納税は、地方公共団体と企業が協働し、地方創生を推進する法人寄附の税制度で、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して、企業が寄附を行った場合、当該寄附金の一部が法人関係税から控除される仕組みです。

^{*2} 寄附者の意向により、寄附金額は非公表です。

株式会社丸昌について(<http://marusho-net.com/index.html>)

和歌山県を拠点としながら、ホテル・病院などで使用する業務用寝装品を製造・販売しています。「すべての人が、きっと、どこかで触れている」をキャッチコピーに、創業から50年の中で全国47都道府県へ商品を展開してきました。

本件に関する報道機関の問い合わせ先

泉佐野市 成長戦略室 おもてなし課 担当: 檜(ひのき)
Tel:072-447-8126/ E-mail: omotenashi@city.izumisano.lg.jp